

わったー まちの話題



にじいろ フアクトリー

ミュージカル「にじいろフアクトリー」が3月25日・26日に、さわふじ未来ホールで開催されました。昨年に続く2回目の上演で、一般オーディションで選考された西原町在住の児童や琉球大学の学生など54人が演じました。あらずじは、主人公の女の子「幹」と意思を持ったスクラップたちがきれいな環境を取り戻すため、困難に立ち向かっていくというものです。

大規模なセットを背景に、ホール全体に響く歌声や楽器の演奏、コミカルな演技、舞台を所狭しと動き回る熱演で、観客を魅了しました。



瀬長拓夢くん なぎなたで西日本優勝

瀬長拓夢くん(西原小4年)が、沖縄県代表として出場した第34回若獅子旗西日本なぎなた大会の個人試合(小学校中学生の部)において、優勝しました。低学年の部でも優勝経験がある瀬長くんは「優勝できて嬉しいです。高学年の部でも優勝できるように、これからも練習がんばります」と、喜びと今後の決意を語りました。また、将来の夢が宇宙飛行士であると話しました。

上間町長は「心技体ともに鍛えて高学年の部でも1位、そして西原町初の宇宙飛行士になることを期待しています」とエールを送りました。



ワールドクラスの プレーに興奮!

日本サッカー協会(JFA)が主催するビーチサッカーの国際親善試合(日本代表vsドイツ代表)が4月15日・16日に、西原きらきらビーチで開催されました。ビーチサッカーW杯(4月27日開催)の最終調整として行われた試合で、迫力あるプレーに観客からは「砂の上なのに動き回れる体力がすごい」、「アクロバティックで展開が早くて、おもしろい」などの感想がありました。



野球で交流

「第5回西原町サンウエストトーナメント町長杯」(同実行委員会主催)が2月26日から4月9日の日程で、西原マリンプarkで開催されました。大会は、地域社会の発展、地域の方々の親睦や健康増進に努めることを目的としています。町内外から24の野球チームが参加し、珍プレー、好プレーありの熱戦を展開しました。また、25社の企業から協賛で集められた支援金で購入した野球用品を、町内の少年野球チーム5団体に寄贈しました。



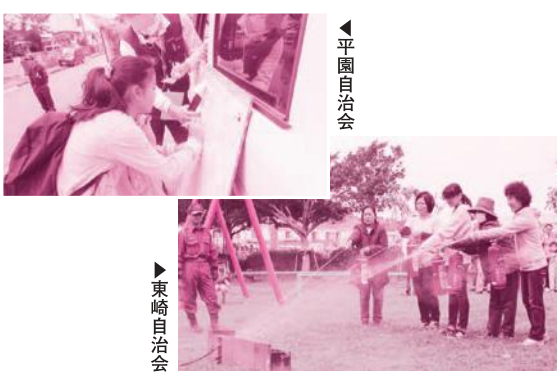
新1年生に 安心・安全

西原町交通安全推進協議会(上間町会長)と浦添地区交通安全協会(仲西郁代会長)から、町内4小学校の新1年生に、ランドセルカバーと交通安全反射材付体育着入れ(巾着)、それぞれ430枚が寄贈されました。寄贈を受けた大濱進西原町教育長は「カバーと巾着袋を身に付けることで、児童は交通安全の大切さを学び、運転手は交通事故防止の意識向上につながります」と述べました。



東崎、平園で 防災訓練

東崎自治会、平園自治会による防災訓練が、それぞれ3月26日に行われました。東崎自治会は初の防災訓練で、我謝児童公園への避難訓練や消火器訓練、救護訓練を行いました。また、平園自治会は、呉屋毛及び西原ハイツ自治会集会所への避難訓練や炊出訓練、AED訓練などを行いました。西原町内には自主防災組織が10団体あり、防災意識の向上や災害時の対応方法などの習得を目的として、日頃から災害時の備えに向けた取り組みを行っています。



チャリティー 展示即売会

NPO法人西原町人づくり支援の会(大城誠一理事長)が主催する「第20回チャリティー展示即売会」が4月14日から3日間、サンエー西原シテイで開催されました。当会は、才能と意欲ある町内の若者を支援することを目的として、収益金から町立小中学校への図書の贈呈、中学生の海外短期留学の支援などを行っています。趣旨に賛同した芸術家などの陶器やガラス、絵画、書道、手芸品などの作品が通常より安く手に入るとあって、多くの方が訪れ、購入していました。



村遊び 開催

村遊びは、村の神々に五穀豊穡を感謝し、豊年を祈願するためアシビナー(遊び庭)で演じられる奉納舞踊です。稲の収穫を終えた旧暦の八月一五日前後に開催するところが多いようで、その日は、「長者の大王」「弥勒加那志」「獅子」などの来訪神を招来し、村人たちによる村遊びが華やかに奉納されます。人間生活の中で最も理想的な姿である福祿寿の徳を兼ね備えた長者の大王、常にその若々しい生命力を観客に与える若衆踊、薩摩流で江戸の匂いを漂わせる



字小波津「久志の若按司」(2005)



字小那覇「手水の縁」(2007)

二才踊、首里士族の女性の恋や花鳥風月を琉歌と組み合わせ表現した女踊、さらに、各地のグスクの按司たちの興亡を題材にした敵討ち劇の組踊などが、主要な演目となって今日に至っています。これに加えて、獅子舞を中心に棒踊などが古来の要素として残っています。獅子舞や棒踊は古くから村々で行われていた祭祀芸能であり、長者の大王や組踊などは西暦一七〇〇年以降に首里の都から村々に持ち込まれた芸能です。この村遊びは、幸地、棚原、翁長、小橋川、内間、小那覇、我謝、桃原、小波津の九字で伝承されていて、特に今年は、「幸地西原十五夜あしび」、「棚原西原一二年まーるあしび」、「小波津七年まーる村遊び」というように、一二年ぶり、七年ぶりの村遊びが開催されます。伝統芸能の継承・発展のため、地域の方々が一堂に集い、創り上げていく一大イベントです。ぜひ、お住いの地域、出身の地域の村遊びにご参加ください!

